

《石川県における労働災害発生状況》

1 署別・業種別件数（令和8年速報値）（ ）内は木建工事 ○内は死亡者数 令和8年1月31日現在

署別	業種別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署			1		1	3	35
小松監督署			1		1	1	11
七尾監督署	1				1	2	12
穴水監督署					0	(2)	3
計		1	2	0	3	(2)	61
前年同期		4	(2)	3	(2)	10	① 61

対前年同期比の増減 建設業：10件→3件【7件(70%)減少】全産業：61件→61件【増減なし】

2 署別・業種別件数（令和7年速報値）（ ）内は木建工事 ○内は死亡者数 令和8年1月31日現在

業種別 署別	土木工事		建築工事		設備工事		計			前年同期			全産業	
金沢監督署		19②	(21)	39		11②	(21)	69		(15)	77	⑥	814	
小松監督署		6	(6)	13		5	(6)	24	②	(5)	25	④	318	
七尾監督署	①	5	(15)	23		4①	(15)	32	①	(13)	30	②	138	
穴水監督署		11	(30)	33		3	(30)	47	③	(30)	45		86	
計	①	41②	(72)	108		23③	(72)	172	⑥	(63)	177	⑫	1,356	
前年同期	②	29③	(63)	127	①	21⑥	(63)	177				⑫	1,306	

対前年比の増減 建設業：177件→172件【5件(2.8%)減少】全産業：1,306件→1,356件【50件(3.8%)増加】

3 死亡災害事例(令和7年)全産業

No.	発生	業種	年齢	事故の型	発生状況
1	1月 金沢	道路貨物運送業	50代	有害物等との接触	出張先の新潟県上越市内において、同僚がトラックの運転席後部の寝台で意識のない状態の被災者を発見したが、その後死亡が確認されたもの。(火気使用による一酸化炭素中毒)
2	3月 金沢	木造家屋建築工事業	50代	墜落・転落	木造住宅解体工事現場において、解体後の廃材を解体用つかみ機で搬出する作業中、トラック運転席上部にいた被災者が地上に墜落したものの。
3	4月 小松	道路貨物運送業	60代	崩壊・倒壊	荷主作業場において、トラックの荷台ヘフォークリフトにより製品（木材）を積み込んでいたところ、3段積みの積荷が崩れ、トラックの荷台で作業していた被災者が下敷きとなり死亡したものの。
4	4月 金沢	旅館業	50代	墜落・転落	業務のためホテル（11階建て）の屋上に行った後、地上の歩道上に墜落したものの。
5	4月 金沢	木造家屋建築工事業	20代	火災	木造2階建建物(動物病院)の増築工事現場において、被災者が污水管を通すため既設石膏ボードに電動ドリルで直径100mmの穴を開けた際、既設酸素導管に誤って穴をあけてしまい、その際に発生した火花が断熱材に引火した。火は既存建屋に燃え移り、被災者は退避できずに死亡したものの。(技能実習生)
6	5月 金沢	印刷業	60代	はさまれ 巻き込まれ	大型輪転印刷機械を停止して段取り作業を行っていた際、停止した機械のロール後退作業を同僚が行ったところ、機械装置内に侵入していた被災者が、ロールと印刷機の軸にはさまれ死亡したものの。
7	6月 七尾	警備業	30代	交通事故	出張先である氷見市内の市道交差点において、通信ケーブルの引き込み線の撤去工事現場周辺の交通整理を行っていたところ、乗用車にはねられ、死亡したものの。
8	7月 七尾	土地整理土木工事業	10代	交通事故	造成工事現場（七尾市）での作業終了後、被災者は、軽トラックを運転し、事業場資材置き場（金沢市）に向かうため、県道298号線を走行中、対向車線にはみ出し、直進してきたトラックと正面衝突し、全身打撲により死亡したものの。
9	9月 金沢	新聞販売業	70代	交通事故	原動機付自転車を運転して朝刊を配達するため販売所を出発した後、農道脇のコンクリート製用水路内で倒れているところを発見され病院に搬送されたが、死亡が確認されたもの
10	10月 小松	その他の商業	20代	交通事故	作業場所に向かって、林道を移動式クレーンで走行中、脱輪して谷川に転落。被災者は、崩落した土砂に埋もれていた状態で河川敷で発見されたが、死亡が確認されたもの。
11	11月 小松	道路貨物運送業	60代	交通事故	北関東自動車道にて大型トラックを運転中、インターチェンジ付近の加速車線から前方に合流してきた大型トレーラーに追突した際、胸部を強打し死亡したものの。
12	12月 小松	その他の製造業	70代	はさまれ 巻き込まれ	畳店において、畳表を畳床に縫い付ける機械を用いて作業をしていたところ、何等かの目的で機械の端部と脚部の梁の間に上半身を差し入れた際、機械が起動してしまい、被災者の胸部が挟まれ、死亡したものの。

4 死傷災害の推移 発生件数欄の上欄（ ）内は死亡者数

年	事項別	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7 速報値
発生件数	全産業(A)	(15) 1,067	(10) 1,016	(9) 968	(12) 1,153	(15) 1,250	(8) 1,155	(10) 1,158	(7) 1,357	(8) 2,395	(6) 1,480	(12) 1,355	(12) 1,356
	建設業(B)	(6) 158	(2) 125	(2) 118	(7) 135	(3) 147	(3) 141	(2) 126	(3) 143	(2) 138	(2) 112	(6) 180	(3) 172
割合(%)	(B)/(A)	14.8	12.3	12.2	11.7	11.8	12.2	10.9	10.5	5.8	7.6	13.3	12.7
対前年比(%)	全産業	1.3	▲ 4.8	▲ 4.7	19.1	8.4	▲ 7.6	0.3	17.2	76.5	▲ 38.2	▲ 8.4	3.8
	建設業	22.5	▲ 20.9	▲ 5.6	14.4	8.9	▲ 4.1	▲ 10.6	13.5	▲ 3.5	▲ 18.8	60.7	▲ 2.8